



# 環境まづくり 会報

31号

題字/福田博子 編集・発行/入間市環境まづくり会議 2021年3月26日発行

## エスディーズ SDGsとウイルスについて



会長 木内 勝司

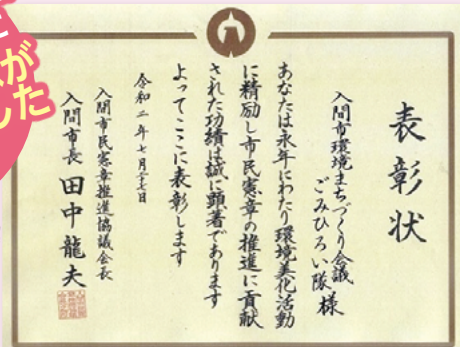
よりよい世界をめざすSDGs（持続可能な開発目標）は、世界が2030年までに具体的な対策をとることを掲げています。こうした中で、2020年は新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れました。国内ばかりではなく、欧米をはじめとする世界中もパンデミックに襲われています。人類は未曾有の危機に直面しているといっても過言ではありません。皮肉なことに、世界的な観光地の「水の都」ベネチアは観光客の激減により、濁って異臭を放っていた運河が透き通り、無数の魚が泳いでいるのが見えたとい



います。インドなどでは都市封鎖によって工場や公共交通機関がとまったことにより、かすんで見えなかつた星空やヒマラヤ山脈が見えるようになったといえます。コロナ禍があぶりだしたのは、人類の身勝手さと現代社会のもろさといえます。

化石燃料（石炭、石油、天然ガスなど）の大量消費と森林伐採によって大気中のCO<sub>2</sub>濃度が増え、地球温暖化への影響が大問題になっています。エネルギーを大量消費し、窒素やリンを大量排出して、海洋プラスチックがあふれている今、地球上の物質循環を正常化する手立てが早急に必要です。コロナ禍は、「さらにSDGsに積極的に取り組むべし」という非常に大きな警告の一つなのかも知れません。

入間市民憲章推進協議会  
実践活動功労者に  
ごみひろい隊が  
表彰されました



豊岡地域・藤沢地域の歩道上のペットボトルやタバコの吸い殻などのごみひろいを行い、きれいなまちづくりを推進するとともに、路上喫煙防止キャンペーン、ごみ減量・マイバック推進キャンペーンの啓発活動を行い、地域の環境美化活動に大きく貢献したことが認められ、2020年7月に表彰されました。

# 16年目を迎えたごみひろい隊

2005年11月に8名で開始したごみひろい隊も16年目を迎えました。

(本多 進 記)



## メンバー

2021年1月現在45名。大学生から80代まで、男性18名、女性27名。

## 最近3年間の ごみひろい隊の開催数

豊岡コースと藤沢コースを月交代で、2018年10回、2019年10回実施しました。雨天で中止になることがあるため年10回程度の実施。2020年は新型コロナウイルスの影響から中止が多く、3回の実施となりました。最近3年間の参加者数は平均20名。いつも豊岡コースの参加者が多いです。2020年11月で146回目を迎えることが出来ました。

## ごみの量

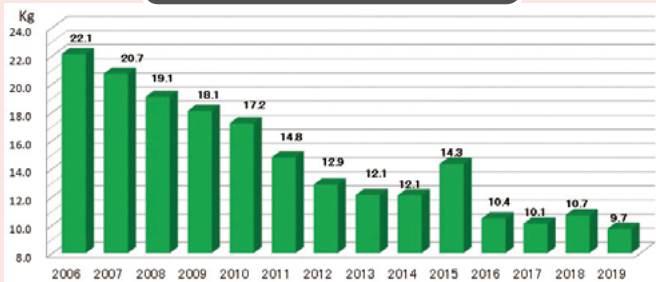
2006年に収集したごみの量は平均22.1kgありましたが、2019年には約55%減の平均9.7kgになりました。



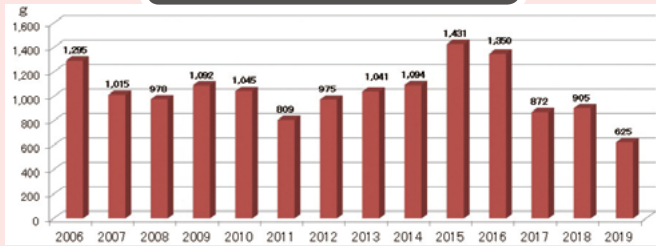
## タバコの量

発足した当時より計量していますが、あまり減少していません。タバコの量が最も多かったのは、第91回(2014年5月)の約4000本でした。

ごみの量(1回あたりの平均)



タバコの量(1回あたりの平均)

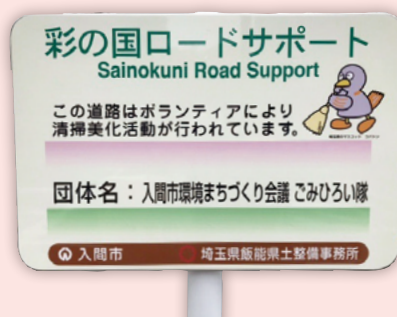


## 彩の国ロードサポート 表示板が設置されました

彩の国ロードサポート制度は、活動団体、県、市町村、活動支援者がパートナーとなり、快適で美しい道路環境づくりを進める取り組みで、2020年12月に「彩の国



ロードサポート表示板」が4か所設置されました。豊岡コースは豊岡整形外科病院前とアイポット前の2か所、藤沢コースは澤田医院前と山田うどん前の2か所に設置されました。



## コロナ禍でのごみひろい隊

2020年11月、8ヶ月ぶりに第146回ごみひろい隊を実施しました。コロナ禍のため、特別に注意を払い実施しました。①ソーシャルディスタンスの確保。②全員マスクの着用。③ペットボトルや

ごみひろい隊を開催できるように願わずには  
いられません。

たばこの吸い殻には人の唾液が付いている心配があるので、絶対に素手で触らないように注意。④ごみを分別後、アル

コール消毒。⑤帰宅したら手洗いの励行。



**定**

年後、入間市で第二の人生をスタートさせた十数年前のことです。藤宮市民農園での畑仕事の行き来の道すがら、ポイ捨てゴミの多さにあつ氣にとられ、道路

に沿いの我が畑の中までゴミ屑を投げ捨てて行く輩のマナーの悪さに辟易させられることも屢々でした。そんな折、「入間市環境まちづくり会議」に「ゴミの減量・街中の美化・清潔清掃」を目的に「みんなのゴミ部会」が発足したことを知りまし

た。早速加入し、推進会議に臨んだことでしたが、手探りの中、結局、机上の議論・建前論ばかりに

終始する嫌いがあり、隔靴搔痒の感、今一つシツクリ来ないことに物足りな

さを感じていたのが実感でした。

そんな雰囲気の中、何

か具体的な行動を始めよう…との意見が出て、手

始めに「ポイ捨てゴミの削減」をテーマに、「ゴミ拾い活動をしよう」と

提案しました。

提案の主旨は、「他人の

振り見て我が振り直せ」

の諺の通り、ポイ捨て

ゴミを無くすには、通行中

の市民の皆さんに「まちなかのゴミを拾い、地域

を綺麗にする姿を見て頂き、ポイ捨てそのものが

悪…との意識を呼び起こすのが特効薬では…」と

の思いで、「みんなのじみひろい隊」を発足し、

毎月定期にゴミ拾い活動を開始する運びとなりま

した。以来十数年毎月一回、「良く目立つ揃いの

ユニホームを着用した」

活動に成長しました。現在では30名近くの有志の

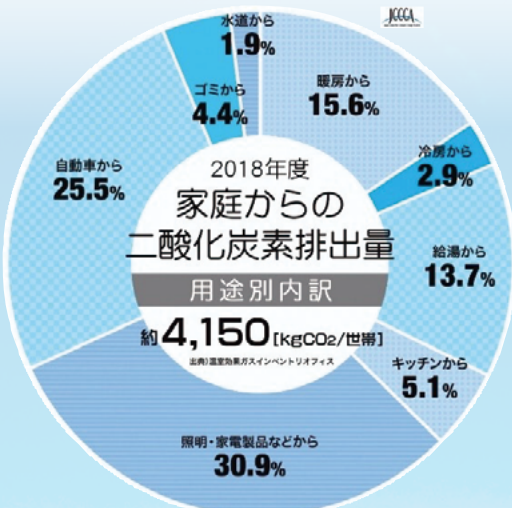
方が参加される有意義な

イベントとして定着する



に至っており、ポイ捨て防止に些かなりとも役立つているものと、自画自賛している次第です。「継続は力なり」を motto に、これからも息長く示唆を与え続けられる様、活動に参画していきたいものと願っております。わが国固有の当て字「護美」の如く、「ゴミ＝塵芥が↓護美＝美を護る」に変わることを期待して。

(治郎堂 実記)



全国地球温暖化防止活動推進センター HP より  
(<http://www.jccca.org/>)



した生活を実施して、地球温暖化防止のためのライフスタイルの定着に向けたきっかけをつくるため、簡単なチェックシートを利用して、広く皆様にエコライフを体験していただくものです。

入間市環境まちづくり会議では、毎年多くの方が参加し、2018年に埼玉県から感謝状をいただきました。

家庭からの二酸化炭素排出量を削減するため、省エネ・省資源など環境に配慮



冬は暖房器具の使用等により、家庭におけるエネルギー使用量が最も多く、CO<sub>2</sub>の量は夏の約1.8倍になります。エアコンや照明器具の使い方を今一度見直してみませんか。





# 環境にやさしい珈琲講座

(環境市民講座)



環境市民講座は、環境アドバイザーによる様々な環境情報を学べる講座やフィールドワークを、年数回実施しています。

果を、目の前で淹れた薫り高い珈琲を試飲しながら楽しめる講座です。

もちろん、本当の目的は、毎日飲む珈琲が如何に世界の環境と関わっているかわかってもらうこと、栽培方法に留まらず、生産者の生活を守ることが重要だと気付いていただき、どうすれば生産国の自然や文化が守れるのかです。特別栽培の珈琲を味わって、消費者としていかに行動すればよいかを考えていく美味しく学べる講座です。

(川名 千鶴子 記)

## 第三次入間市環境基本計画



入間市環境まちづくり会議は会則にあるとおり、入間市環境基本計画を具体的に進めることで、私たちの身近な自然や環境を大切にすることを育み、環境にやさしい「入間市」を築いていくことを目的としています。この度、2020～2029年度における第三次入間市環境基本計画が策定されました。「概要版」を希望される方は、入間市役所環境課または市公式ホームページから

(森谷 秀一 記)

入間市環境基本計画



### コロナ禍の会報づくり

今年度の環境まちづくり会議は、他の多くの団体と同様に新型コロナウイルスの影響で多くのイベントを中止せざるを得なくなりました。この会報も、例年ですと環境フェアや環境ウォーキングなどの記事が誌面を賑わすところですが、今年は様子が違います。

どんな誌面づくりにしようかと編集委員の鳩首会議の結果、発足から16年目を迎える「ごみひろい隊」にスポットを当てる事となりました。お願いした原稿はどれも執筆者の熱意が感じられる内容でボリュームも予想を遥かに超えるモノ。スペースの都合で字数を調整せざるを得ず、その度に旧知の間柄の執筆者の顔を思い浮かべ「泣いて馬鹿を斬る」の心境での編集作業となりました。編集委員もつらいなあ…(新井 格 記)

実施  
しています

### エコライフDAY活動

7月～9月 及び 12月～2月

実施  
しています

### ごみひろい隊活動

毎月第2日曜日

詳しくは、ホームページの「ごみひろい隊」をご覧ください

入間市環境まちづくり会議

検索

会員数399 (人・団体)

## 入間市環境まちづくり会議

事務局 入間市役所環境経済部環境課

TEL 04-2964-1111(代表) 内線 4221 または 4222

FAX 04-2965-0232

URL <http://www.kankyo-iruma.net/>

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

